

事務事業名	中部横断道沿線地域活性化推進協議会参画事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2011- 2119				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	政策推進課	課長名	保坂 正彦				
			所属担当	政策研究担当	担当者名	深澤竜馬				
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 01	目 07	細目 120	細々目 06
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	02	行政改革の推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 20 ~ 29 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 中部横断自動車道の全線開通が沿線地域に与えるプラス効果を最大に活用するとともに、マイナス効果を出るだけ減らして行くことが地域の活性化の為には不可欠である。沿線地域のエリア別の将来像を明らかにして、その地域特性を踏まえながら、地域活性化に必要な取組みを、地域自ら主体的にかつ計画的に推進する。H22年度に具体的な企画が県協議会に承認され、H23年度からは、民間主体の推進協議会を発足し活動する。この活動に対し、県、市ともに支援を行なう。			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 ) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 協議会・協会・団体補助金 640,000						
				計 640,000						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 南アルプス・ネイチャー王国プロジェクト推進協議会 南アルプス山麓・フルーツ劇場プロジェクト推進協議会 27年度活動予定 南アルプス・ネイチャー王国プロジェクト推進協議会(自立に向けた活動)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アプロジェクト推進協議会 回 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	プロジェクト協議会	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア会員数 人 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	民間メンバーによる協議会の自主運営	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アプログラム数 本 イ部会開催数 回 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	法人した組織数	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア法人化数 法人 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円	1,000	1,000	1,000				
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,000	670	640	1,200	1,200	1,200	
		事業費計(A)	千円	2,000	1,670	1,640	1,200	1,200	1,200	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	400	500	500	500	400	300	
		人件費計(B)	千円	1,820	2,276	2,276	2,276	1,820	1,365	0
		(A)+(B)	千円	3,820	3,946	3,916	3,476	3,020	2,565	0
活動指標	ア	回		5.0	6.0	2.0	6.0	6.0	6.0	
対象指標	ア	人		51.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
成果指標	ア	本		3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	イ	回		12.0	5.0	20.0	3.0	3.0	3.0	
上位成果指標	ア	法人		0.0	0.0	0.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H20年6月に設置。静岡一山梨一新潟を結ぶ高速道路の開通を見据え、経済、物流、観光のクロスポイントとして、開通のメリットを最大限に獲得するための準備をすすめる事を目的とする。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	経済状況は良くならないが、開通時におけるプラス効果への期待度は高まっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	この事業を継続していくためには、民間が主導となり推進を図り、行政は後方支援を行って欲しいと意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	ネイチャー王国→目標達成のため、3部会に分けて事業推進を図った。 フルーツ劇場→4市町連携でのツーリズムの試行
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	ネイチャー王国→ガイド認定講習受講、登山調査・測量調査を行ない整備に対する許可を受けた。

事務事業名	中部横断道沿線地域活性化推進協議会参画事業	所属部	総合政策部	所属課	政策推進課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域活性化について民間・NPOが主体的に考え、積極的に活動していることは、行政改革の推進と捉える事ができる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 現在は補助金を支出しているが、計画が実施される段階においては、民間・NPO中心の活動となることを目標としている。故に期限付き補助金としている。ただし、南アルプス市がエコパーク事業を推進していく上では公共が関与していることが成果の向上につながることもある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 将来的には独り立ちすることを目標とする。来年度は協議会および南アルプス市にとって重要な年なので継続して補助(連携)を行なう。また、北部4市町の連携体制については協議会事務局(農林振興課)で方向性を協議し結論付けをする必要がある。
	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 決められた枠の市町連携では無く、必然性があつての連携をしていくことにより成果の向上が見込まれる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 6次産業化による地域活性化という目的は同じ。市担当が連携し、重複せず効率的に協議できる体制の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
有効性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 民間・NPOが積極的に活動を始めたこの現段階において、行政の都合で手を引く事はできない。但し、補助金ありながら、4市町が連携していることから本市の一存で廃止・休止の決定は難しい。(行政だけでなく民間も巻き込んでいる)
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 協議会の実施事業で利益を生むことができる様になれば、事業費の削減にはつながる。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金の支出、協議会運営支援、県担当部局、関連市町との調整等の業務があり、臨時および外部委託は難しい。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域活性化について各市町で構成されているメンバーであり、やる気のある人材であれば参画も可能であり、一部の受益者への偏りは無い。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	南アルプス山麓フルーツ劇場プロジェクトは、山梨県の示した枠組み(旧中巨摩郡)で進めて来たが、中部横断道沿線地域としての枠組みが妥当であるか改めて見直す必要がある。南アルプス市以外は取組みに対する意識が低い。もう一つの南アルプス・ネイチャー王国プロジェクトは構成市町の民間委員が連携を意識して事業推進しているため、成果が出始めている。今後は、自立した組織となる為に、自主財源を生み出す体制作りが必要となる。連携自治体が効果的な支援(お金ではなく)を行う事で、目的達成に近づく。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 南アルプス・フルーツ劇場PJ →現在の連携市町の枠組み検討し結論を出す  南アルプス・ネイチャー王国PJ →組織の独り立ちに向けて活動を行なう。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 南アルプス・フルーツ劇場PJ →協議会委員の意思確認と現状分析を行い協議会の必要性を確認  南アルプス・ネイチャー王国PJ →事業が実施段階となってくるため、連携市町事業での活用、企画の実施PR、営業	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度 成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					